

# ヤードスロープの取り扱いについて

ヤードスロープの取扱いは、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、お読みになりました後いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

※作業荷重 8000Kg 以下 (リフト自重 2.5t 以下+荷物)

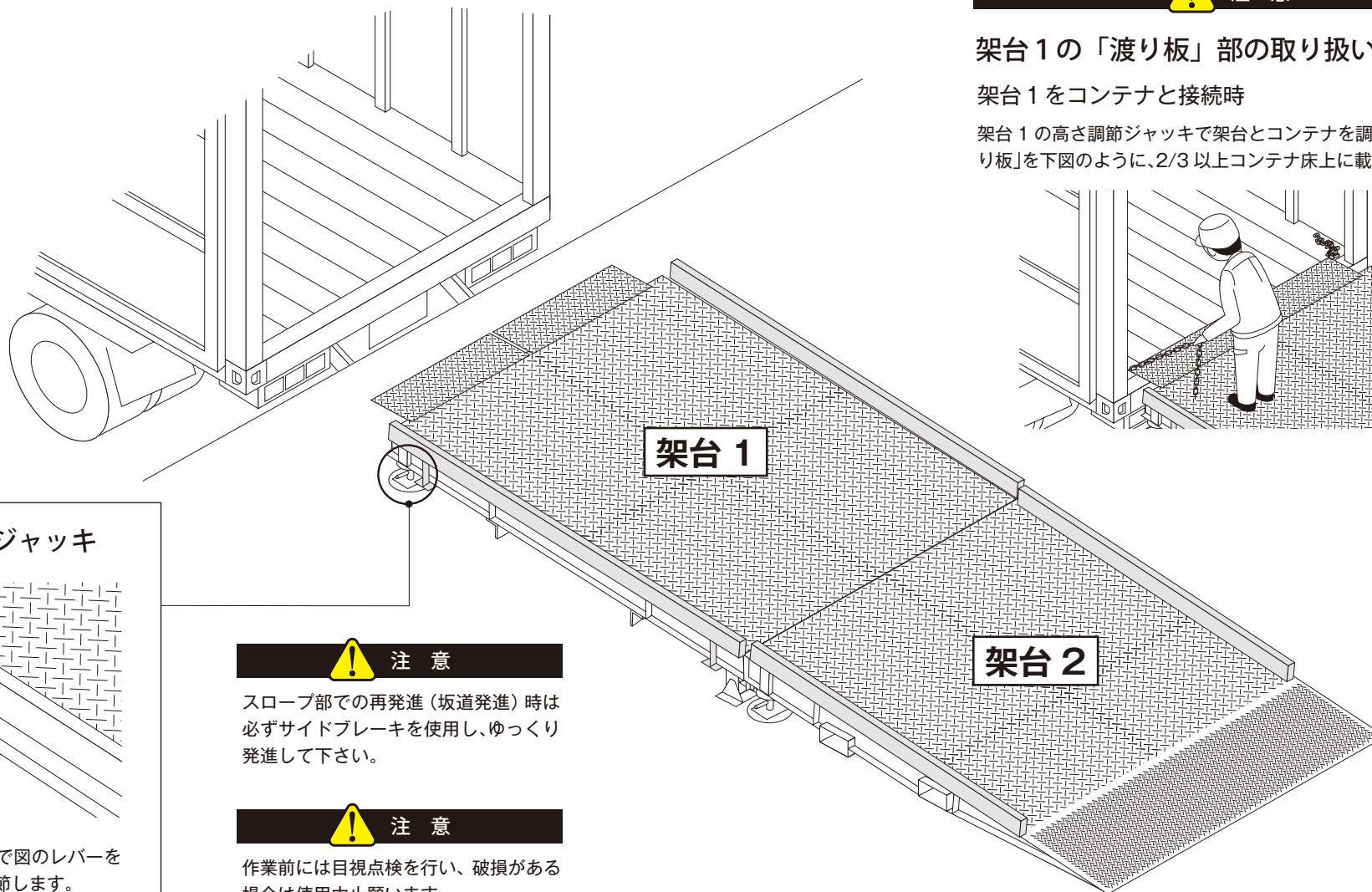
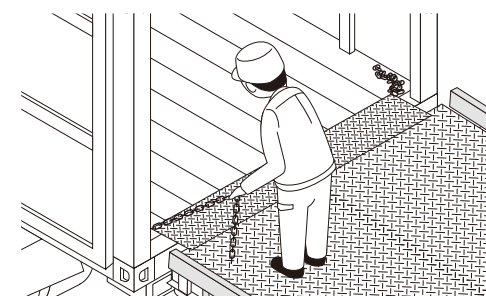


注意

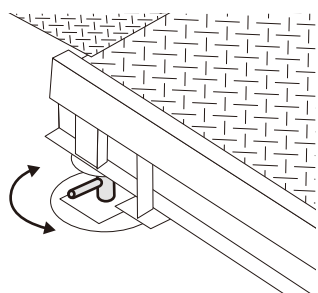
## 架台1の「渡り板」部の取り扱いについて

架台1をコンテナと接続時

架台1の高さ調節ジャッキで架台とコンテナを調節した後、「渡り板」を下図のように、2/3以上コンテナ床上に載せて下さい。



### 高さの調節ジャッキ



脚が浮いている状態で図のレバーを廻して脚の高さを調節します。  
その際、地面の凸凹にジャッキが確実に下がるまで固定して下さい。  
※設置した状態でバーを廻すと破損致します。



注意

スロープ部での再発進(坂道発進)時は必ずサイドブレーキを使用し、ゆっくり発進して下さい。



注意

作業前には目視点検を行い、破損がある場合は使用中止願います。



注意

床面が濡れている場合は滑りやすくなりますのでご注意願います。

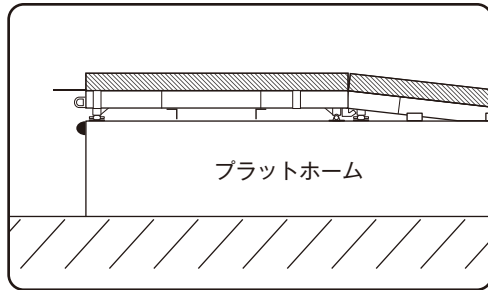
※フォークリフト専用となります。

※架台1、2をセットする場合は、荷重 2000Kg 以上のリフトをご用意ください。

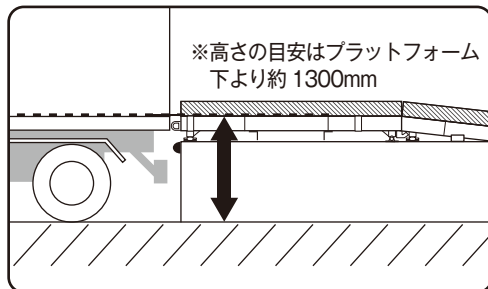
# ヤードスロープの組立について

ヤードスロープの組立では、この説明書をよくお読みの上、順序よく組み立てて下さい。  
安全に充分ご注意の上フォークリフトを操作し、架台1から順番に、プラットホームにセットして下さい。

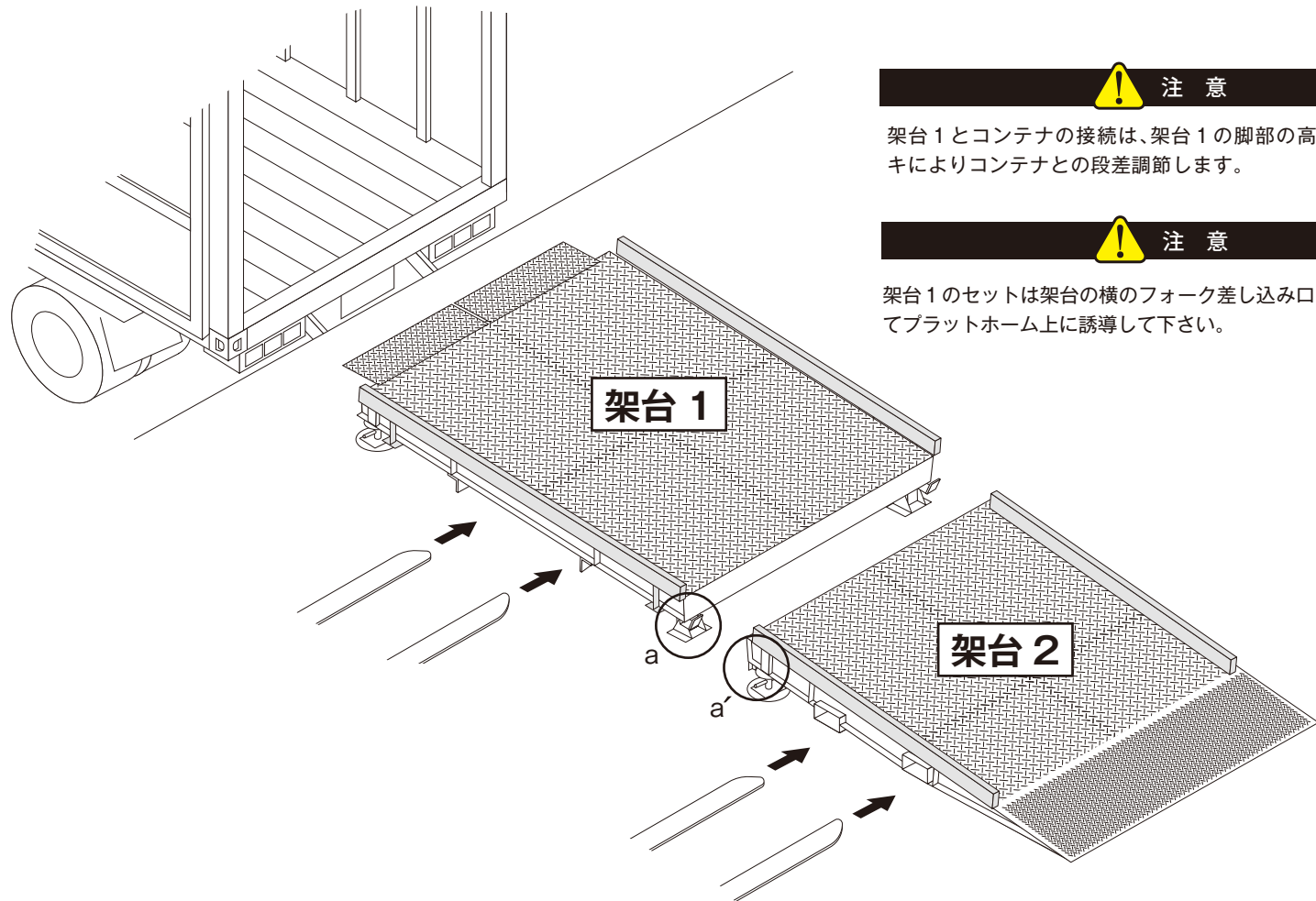
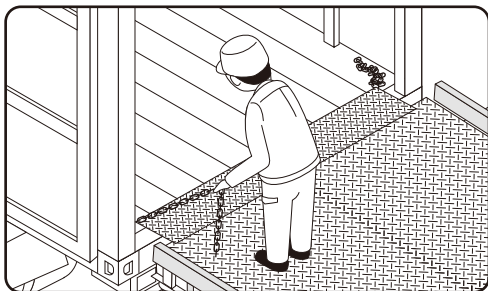
- 1** 組立て場所、プラットホーム上の際は、フラットな場所を選んでください。



- 2** 荷積載時のコンテナ高さと同下ろし時の床面高さの中間に架台1の高さを設定してください。



- 3** 架台1の高さ調節ジャッキで床面の高さを調節します。渡板を2/3以上差し渡してください。



**注意**

架台1とコンテナの接続は、架台1の脚部の高さ調節ジャッキによりコンテナとの段差調節します。

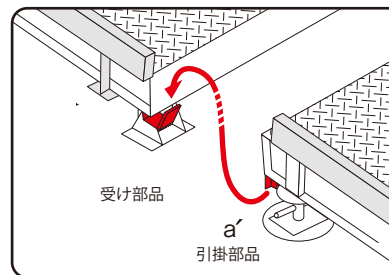


**注意**

架台1のセットは架台の横のフォーク差し込み口より、持ち上げてプラットホーム上に誘導して下さい。

**4**

つづいて架台1と架台2のセットは、フォークのツメを横から差し込んで移動します。図aと図a'の組立て嵌合部分の引掛部品を確認しながら、フォークリフトを調節して組み立てます。



図aと図a'、嵌合部は引掛部品が受け部品にきちんと差し込まれているか確認して下さい。